

**令和4年度第2回
岐阜県科学技術振興センター指定管理評価員会議 結果概要**

○日 時：令和5年2月20日（月）

○場 所：オンライン開催

1 令和5年度事業計画書について

【指定管理者】説明

2 主な質疑応答

【評価員】維持管理業務にある「設備のクセなどを見える化」とは具体的に何か。

【指定管理者】設備員が日頃感覚的に感じていたことを数値化している。冷温水発生機で作る氷の完成時間や、空調の稼働方法等、設備員の提言案を実際に試し、数値化して効率性が証明できたものを導入している。

【評価員】台風対策において、チェーンソーを常備とあり、普段はあまり使わない器具であると思うが、設備員達に使い方を周知する機会があるのか

【指定管理者】設備員のうち1名を講習会に参加させており、その者が他の設備員にレクチャーをしている。

【評価員】電気代が高騰しているため、暖房便座の電源を落としていたり、電気を切ったりするなど、サービスが低下するような節電はやめた方がいいと思うが、そういったことはしていないか。

【指定管理者】お客様のサービスが低下するような節電は行っていない

【評価員】施設のリスクチェックについて、アンケートやお客様の声を基にとあるが、何か具体的にあるのか。

【指定管理者】会議室や図書資料室利用者にアンケートを行っているが、階数を案内するデジタルサイネージなどは、このお客様の声を基に設置された。

【評価員】「コスモス」は今どういう状態なのか。

【県】設備も古くなり、情報科学技術研究所が統廃合されたこともあり、近年は利用が全くない状況。このため、設備を撤去し、既に整備されているローカル5G通信環境を活かし、スマート工場実証施設を整備して、企業に貸出をする部屋にする予定。ただし、国の地方創生交付金の採択があることが前提。

3 講評

- ・色々な方が利用されているが、上手にコントロールしてくれていると思う。新型コロナウイルスのクラスターも発生しておらず、長年携わっていることもあり、適切に管理がされている。
- ・計画の内容が年々分かりやすくなっており、SNSを毎日更新するなど意欲的に取組まれていて良い。
- ・適切な管理がなされていることが分かった。各務原市として協力できることがあれば、利用率向上に向けて力になりたい。
- ・新型コロナウイルスへの対応がコロナ禍以前に戻ろうとしている中で、光熱費等、先の見えない状況ではあるが、子どもたちの科学に対する興味をもたらすといった、大きな使命に向かって頑張ってもらいたいし、引き続き、安全安心をベースに施設の管理運営をしてほしい。

※各評価員から令和5年度事業計画書について、適当である旨の評価をいただいた。